

製品名: XIAP マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82285**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	56.7kDa

抗原情報

遺伝子名	XIAP
別名	API3; ILP1; MIHA; XLP2; BIRC4; IAP-3; hIAP3; hIAP-3
遺伝子 ID	331.0
SwissProt ID	P98170
免疫原	大腸菌で発現したヒト XIAP (AA: 1-268) の精製された組み換え断片。

背景

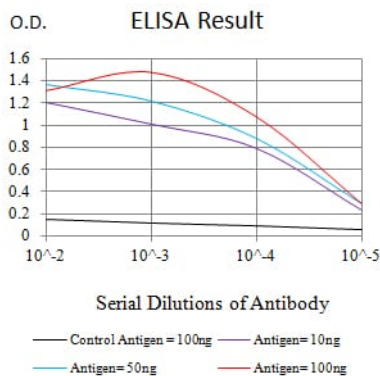
この遺伝子は、アポトーシス抑制タンパク質ファミリーに属するタンパク質をコードしています。このファミリーのメンバーは、バキュロウイルス IAP リピートと呼ばれる保存されたモチーフを共有しており、これは抗アポトーシス機能に不可欠です。このタンパ

ク質は、腫瘍壊死因子受容体関連因子 TRAF1 および TRAF2 への結合を介して機能し、強力なフリーラジカル誘導因子であるメナジオンおよびインターロイキン 1 β 変換酵素によって誘導されるアポトーシスを阻害します。また、このタンパク質は、細胞死プロテアーゼであるカスパーゼファミリーの少なくとも 2 つのメンバー、カスパーゼ 3 およびカスパーゼ 7 を阻害します。この遺伝子の変異は、X 連鎖リンパ増殖症候群の原因となります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。この遺伝子の偽遺伝子は、2 番染色体および 11 番染色体上にあります。[RefSeq 提供、2011 年 2 月]

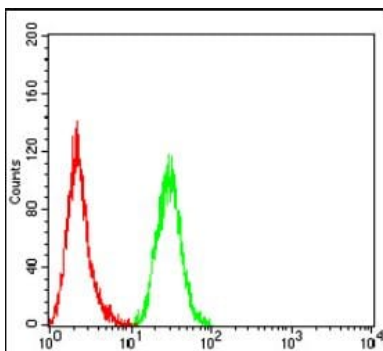
研究分野

アポトーシス、Wnt シグナル伝達経路、TGF- β シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



XIAP マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。